

高齢者施設・障害者施設の 感染対策事例集

講習動画 医療廃棄物

東京iCDC専門家ボード
感染制御チーム

埼玉医科大学国際医療センター
光武 耕太郎 先生



感染リスクを抑えるために

1. 「感染のリスクを減らす行動」を心がけましょう
2. 環境整備は感染対策の基本です
3. こまめな手指衛生（手洗い・消毒）を徹底しましょう
4. 感染性廃棄物の管理はルールを守って行いましょう

感染性廃棄物の管理

1. 感染性廃棄物は適切な場所で保管しましょう
2. 専用の容器を使用し、再利用は避けてください
3. 使用済のPPEは分別して廃棄を徹底しましょう
4. バイオハザードマークの表示を確認してください

感染性廃棄物はステーションに持ち込みません

✕ 間違った事例

感染性廃棄物を保管場所へ移動する途中で、感染性廃棄物を載せたカートが、一時的にスタッフステーション内を通過したり、短時間だけスタッフステーション内に感染性廃棄物を仮置きすることがある。

○ 正しい事例

感染性廃棄物および運搬用のカートは、スタッフステーションに持ち込まない。



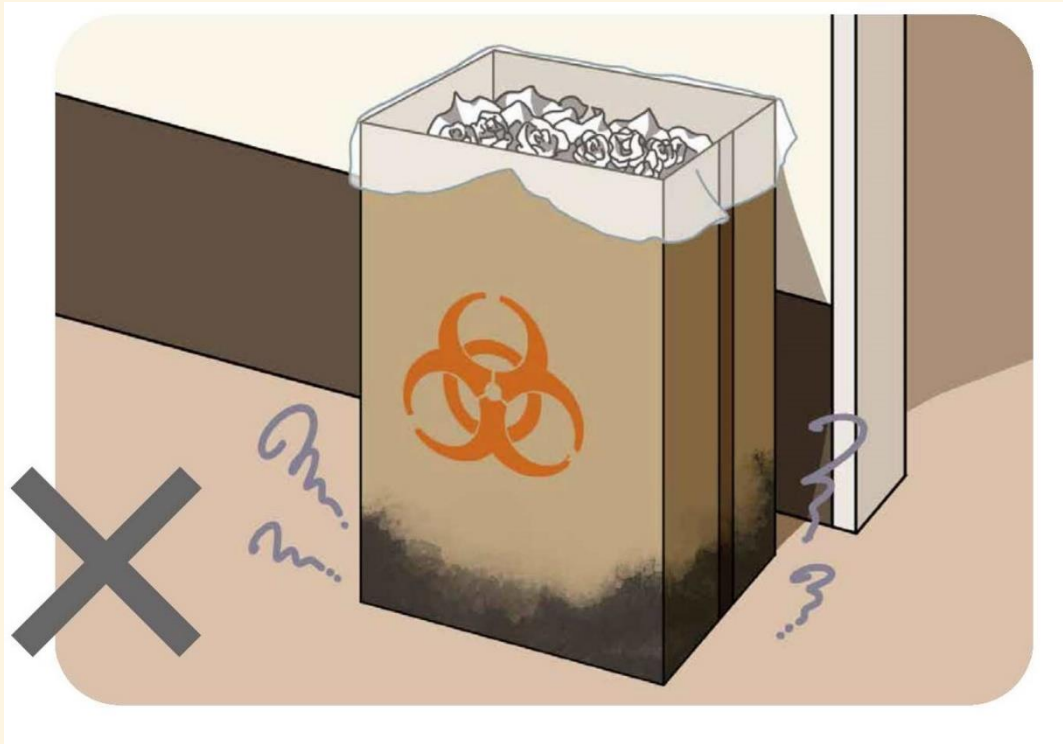
感染性廃棄物はステーションに持ち込みません



解説

スタッフステーション内で汚染が起きる可能性があるので、たとえ一時的であっても感染性廃棄物をスタッフステーションに持ち込んではいけません。感染性廃棄物を廃棄するまでの流れを確認する必要があります。

感染性廃棄物は適切に管理しましょう



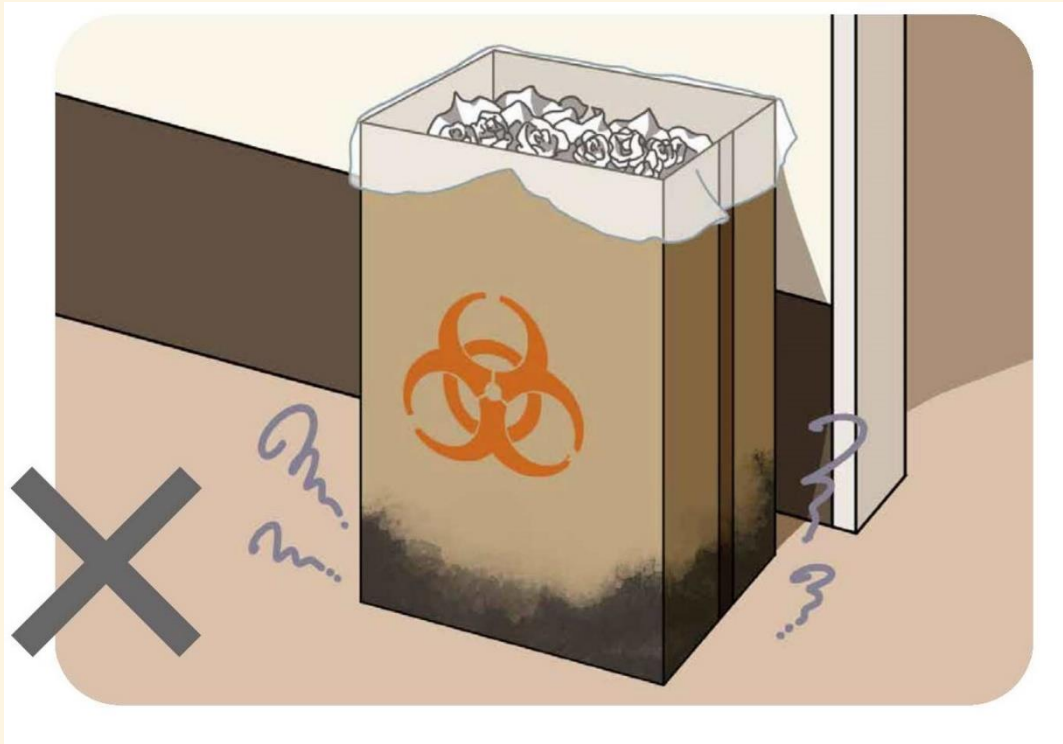
✕ 間違った事例

感染性廃棄物を段ボール箱に廃棄しているが、一度使った段ボール箱を繰り返し使用している。

○ 正しい事例

段ボールの感染性廃棄物容器は再利用しない。

感染性廃棄物は適切に管理しましょう



解説

感染性廃棄物の容器は、①密閉できる、②収納しやすい、③損傷しにくいものを選択し、バイオハザードマークの表示が必要です。段ボール箱は湿気を含み、カビやダニの温床となるので、内側にビニール袋を 사용합니다。液状や泥状の便などの感染性廃棄物は、ビニール袋の封をして箱ごと廃棄して、一度使った段ボール箱を再利用するのは避けましょう。

廃棄物は正しく分別しましょう



✕ 間違った事例

使用済のPPE(個人防護具)と一般廃棄物を混合廃棄している。

○ 正しい事例

使用済のPPEを正しく分別して廃棄している。

廃棄物は正しく分別しましょう



解説

PPEは標準予防策や感染経路別予防策に則って使用します。標準予防策とは、感染症の有無に関わらず、湿性生体物質（血液、汗を除く全ての体液、分泌物、傷のある皮膚、粘膜）は感染性のあるものとして、対応するという考え方です。

廃棄物は正しく分別しましょう



解説

使用済のPPEは、感染リスクがあるため、感染性廃棄物として廃棄します。一方、未使用のPPEが包まれていた外装(ビニール袋等)は一般廃棄物として分別します。